

## 会 議 結 果

会議名	平成30年度 第3回西尾市地域公共交通活性化協議会
日時	平成31年1月11日（金） 午後3時15分～4時30分
場所	西尾市役所 2階 22会議室
出席者	西尾市地域公共交通活性化協議会委員16名 事務局4名 (欠席：颯田洪委員、鈴木英治委員、河合貴夫委員)
傍聴者	5名
議 事	<p><u>1 開会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配布資料確認</li> <li>・石原会長あいさつ</li> </ul> <p><u>2 議題</u></p> <p><u>(1) コミュニティバス無料運行の実施結果について（報告事項）</u></p> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1により説明。</li> </ul> <p>○杉本委員（中部運輸局愛知運輸支局）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートを取ったりしていただいたが、無料運行の実施以降、利用状況に変化があったか分析してもらえるといいと思う。</li> </ul> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ最新の利用実績が出ていないため定量的な比較はできないが、例えばいっちゃんバスでは、無料運行時に両親と一緒に乗車し、「また乗ってみたい」と話していた小学生が、冬休み期間に一人で図書館まで利用していた。くるりんバスでも、無料時のアンケートで初めて乗ったという方がその後利用している姿も見られ、新規利用者の獲得という点では多少効果があった。</li> </ul> <p>○松尾副会長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いっちゃんバスについては地域でルート等考えたものの苦戦しているが、今回乗られた方から、地域の想定とは違う視点での利用や改善につながるような意見があったか。</li> <li>・今回の無料運行ではイベントに向かう子連れの方が多かったとのことだが、今後も利用してくれそうな層の方もいたのか。</li> </ul> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数が伸び悩んでいる一因として、今回の利用者からも意見があったが、今回はイベントに向かうという出かける目的があったから利用したが、普段はルート上にスーパーなども無く乗る目的が無いという意見があった。今回は市職員の他に、地域の協議会のメンバーである地元の方も乗車し直接意見聴取していたため、見直しを進めている地域の協議会での議論に反映していきたいと話していた。</li> <li>・今後利用していただだけそうな層としては、アンケートを取る中で女性のお年寄りの2人組が何組かいたが、いずれも片方がこれまでも利用したことがある方で、利用したことが無いもう一人の方を誘って乗車しており、沿線の病院まで利用できることがわかったため、たまに使ってみようかなと話していた。</li> </ul> <p>○榊原委員（愛知県交通対策課）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な無料運行の周知をする中で、外国人向けにやさしい日本語での周知も行ったとのことだが、実際に外国人の利用はあったのか。人口減少の中で利用の上積みを図るには外からの誘客も重要となってくると思う。</li> </ul>

○事務局

- ・今回の周知の目的として無料運行を知ってもらうとともに、こういうバスが走っているということの改めてのPRもあった。くるりんバスでは無料運行時に何名か外国の方がいたが、普段からも利用されている方であった。やさしい日本語での周知の狙いとしては、西尾市は県内でも外国籍住民がかなり多いエリアであるため、外からの誘客というよりは、公共交通の利用増に向けて市内在住の外国の方をターゲットとした情報発信である。

○清水委員（西尾市代々表町内会長）

- ・今回の利用者の中で、従来からの利用者はどの程度か。

○事務局

- ・いっちゃんバスについては、今回初めて利用する方が9割、使ったことがある方が1割程度。くるりんバスでは、どちらもちょうど半数程度であった。

○石原会長

- ・乗車した方の年齢層は把握しているか。

○事務局

- ・いっちゃんバスではほぼ全ての方に聞き取りを行った。普段は利用が少ない中でもお年寄りの利用が多いが、今回は30代40代の家族連れが多く、車でもイベントに行けるけど、こどもにバスの経験をさせたいという意見があった。

(2) 平成30年度地域公共交通確保維持改善事業の自己評価について（協議事項）

○事務局

- ・資料2-1～2-4により説明。

○石原会長

- ・説明全体を通して民生委員さんなどの現場レベルの活動、お年寄りとの1対1の草の根活動がかなり有効であるとの印象を受けた。

○岡田委員（西尾市民生委員児童委員協議会）

- ・西尾市には230名ほどの民生委員がいるが、それぞれの地区で状況に合わせた活動をしている。例えば自分の幡豆地区では、日常生活はほとんど蒲郡が基本であるが、そういった日常のお年寄りと接する中できめ細かい地域の実情に沿ったニーズ把握等でも関係している。

○石原会長

- ・町内会においても、日頃の会合などの際にそういったニーズ等の意見を聞くことがあるか。

○清水委員（西尾市代々表町内会長）

- ・くるりんバスについてはほとんど周知が行き渡っており皆さん知っているが、路線のない地域からはルートを延ばしてほしいなどの声をよく聞くし、運行時間を拡大してほしいなどの意見もある。町内会としてはそういった意見をある程度まとめて、地域の意見を市へ届けたい。

○石原会長

- ・障害者福祉団体の中村委員にもお伺いしたいが、会員の中からこういったバスに対する意見等はあがっているか。

○中村委員（西尾市障害者福祉団体連合会）

- ・バリアフリーのバスやタクシーの話もあったが、足の悪くない方など利用できる方はよく使っていると聞くが、下半身麻痺や車椅子の方だとバス停まで行くのがそもそも難しく、出かけるという行為がハードルが高く特別なこと。社会福祉協議会の送迎や互助によるところが大きい。

○松尾副会長

- ・いこまいかーは障害者の方が乗れるタクシー車両になっているのか。改善の余地がありそうだが。

○事務局

- ・基本的には通常のセダン型タクシー車両のため、車椅子の方の場合は、車椅子は畳んで収納し座席に座ってもらうことになる。ジャパンタクシーは車椅子の乗降に時間がかかるとの意見もあるが、今後導入されるUDタクシーがいこまいカーで使えれば、多少なりとも移動のハードルを下げる改善になるのではないか。

○松尾副会長

- ・資料2-4について、地域間幹線系統の利用状況がいずれも改善しているが、今後の更なる改善のために何か理由を分析できているか。

○事務局

- ・資料2-4の幹線バスに限らず名鉄電車も含めてだが、事業者から聞いた中で大きな話としては、地域全体として景気が好調な影響で雇用・住宅が増えており、通勤定期の伸びが利用増につながっていると聞いている。また小さな話では、通学での公共交通利用を促す取組等の効果もあり、少子化の中でも通学定期の堅調な利用につながっていると考えている。

○吉岡委員（名鉄バス株）

- ・名鉄バス全体でも今までは利用者数が微減傾向であったが、ここ2、3年では下げ止まりとなっており、やはり通勤定期の利用増が見られ鉄道も同様である。

○加藤委員（名鉄東部交通株）

- ・岡崎西尾線では沿線にトヨタグループの工場ができるなど、雇用の改善が利用増につながっていると考えている。

○松尾副会長

- ・資料2-2でいこまいカーの目的地拡大により、結果として鉄道駅に接続するフィーダー利用も増えている点は注目である。数字としてはどの程度か。目的地を増やしどこでもいけるようになると、ほとんどの場合バスや鉄道の利用が減ってしまう。

○事務局

- ・目的地を拡大した吉良地区では利用が1.5倍となり、300、400人くらいの増加であるが、内半数程度が駅までの利用である。スーパーや病院とともに駅の利用も増えている。

○杉本委員（中部運輸局愛知運輸支局）

- ・資料2-2と2-3は連動していないといけませんが、いこまいカーの目標値が合っていないため整合性を取っていただきたい。
- ・いこまいカーのエリア別利用状況が載っているが、地元の方以外でもわかるように地区分けもいれてもらいたい。
- ・今後再編の中でいこまいカーの位置づけも重要となるが、考えていく中では地域のタクシー事業との住み分けも気をつけていただきたい。どんどん便利にすることでタクシーの利用が減り、タクシー事業者が廃業した地域もある。そうすると結果としては公共交通全体の利便性低下となってしまう。

○事務局

- ・目標値については資料2-3のものが正しいため修正をお願いしたい。
- ・いこまいカーについては、タクシー事業者である名鉄東部交通をお願いしているが、ただいこまいカーをどんどん広げていくのは難しいと思っているため、タクシー補助への切り替えなど、タクシーも含めたネットワークで考えていきたい。

○松尾副会長

- ・タクシー補助に切り替えるという案もあるかと思うが、その場合には国のフィーダー補助は活用できない。どちらにしても駅までのフィーダー輸送であれば、本当はタクシー補助であっても国の制度が活用できればありがたいと思う。

○榊原委員（愛知県交通対策課）

- ・協議会でしっかりと公共交通を進めていただいております。県としても補助など行っている。地区ごとに住民が検討するのはいいことだが、やはり鉄道・バスなどの幹線交通が幹となるため、そことの関係をしっかり考えて再編していただきたい。

◎議題（２）について全会一致で承認。

3 その他

○事務局

- ・次回は平成31年2月15日（金）の午後2時頃開催。

4 閉会

以上